

第 22 回 日本外来小児科学会 予防接種委員会 議事録

2017 年 12 月 24 日（日）12：30～

於：ホテル新大阪 東口ステーションビル 会議室 403 号室

出席者（敬称略 50 音順）： 太田 文夫、岡藤 隆夫、落合 仁、崎山 弘、永井 崇雄、
中村 豊、藤岡 雅司、宮田 章子、牟田 広実、吉川 哲史、渡辺 博
（11 名）

欠席者： 武内 一、田原 卓浩、寺田 喜平、宮崎 千明、横田 俊一郎 （5 名）

開会 委員長挨拶（永井）

- ・崎山新委員の紹介があった。

新任委員挨拶

報告事項

1. 第 27 回日本外来小児科学会 年次集会報告 （落合）

- (1) 特別講演 2 ワクチン感染症のこれまでとこれから
- (2) 教育講演 3 予防接種を安心してうけてもらえるために
- (3) スポンサーセミナー 1 ワクチン「ナースによる予防接種トラブル防止の工夫」
- (4) スポンサーセミナー 2 ワクチン「日々診療でのワクチン啓発と今後」
- (5) スポンサーセミナー 3 ワクチン「リスクに応じたワクチン接種」
- (6) 大学院生による iPad を用いた小学生向けの啓発活動の紹介
- (7) ワークショップ

「予防接種アプリを評価する」（岡藤）

- ・参加者：38 名（看護師 9 名、事務職 28 名、その他 1 名）
- ・結論：医療者側が利用するメリットはほとんどない。

「定期接種委託料金の算定根拠を検討する」（藤岡）

- ・参加者：医師 19 名
- ・結論：予防接種実施管理料と名付けて年齢別に設定し、小児科関連学会から声明として発表する方向にもっていくのが望ましい。

2. 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会（宮崎委員からメールでの報告）

- ・予防接種基本計画の見直し作業が続いており、12 月 8 日の部会では前回に引き続き、実施主体である自治体（複数）からの聴き取りが行われた。
- ・自治体のワクチン購入入札、予防接種記録の自治体間相互利用、予防接種費用の国の直

接負担などが話題になっている。

- ・風しんに関する特定感染症予防指針の改訂（1例即報告、即対応、遺伝子診断）の了承が行われた。
- ・定期接種化に向けての議論（ロタ、PCV13など）の現状を簡単に整理した文書がだされている。

3. 予防接種委託料返還訴訟の経過（藤岡）

- ・大阪高等裁判所での控訴審第1回口頭弁論において原告の請求は棄却され、即日結審となった。

6. 全国調査による我が国の定期接種ワクチンの累積接種率（崎山）

- ・論文（外来小児科学会誌 2017；20：272-281）の概要について説明があった。

7. ロタウイルスワクチンの接種方法に関する実態調査（牟田）

- ・論文（外来小児科学会誌 2017；20：362-368）の概要について説明があった。

8. 副反応モニタリング調査（感染研 神谷先生）について

- ・前回から進展なし。

9. VPDの会によるムンプスワクチン副反応調査（藤岡）

- ・髄膜炎報告：1歳～6歳 13,570接種で0例、7歳～16歳 1,060接種で2例

協議事項

1. 第28回日本外来小児科学会年次集会にむけて

- ・ワークショップ企画申し込み
 - 定期接種委託料金の算定根拠を検討する（藤岡）
 - ワクチン反対派への対応（藤岡）
 - リスクマネジメント（崎山）
 - 渡航ワクチン（岡藤）

2. ムンプスワクチンの安全性に関する調査（牟田）

- ・調査前に定期接種に関して厚労省の認可基準を確認しておく必要がある。
- ・入院例で安全性を評価するのは問題あり。
- ・大病院で症例を集め遺伝子診断する必要がある、クリニックで行うには限界がある。

- ・調査を見送ることにする。

3. 5価ロタウイルスワクチン接種直後に大半を吐き出した時の接種の効果（牟田）

- ・課題名：5価ロタウイルスワクチン接種直後に吐き出した児の便へのワクチンRNAの排泄状況
- ・調査研究方法検討会に研究計画書を提出した。
- ・接種1回目を対象とし多施設共同での観察研究とする。

4. DTのDPT化について

- ・就学前のDPT接種に関する要望書を作成する。

5. 委員長の交代

- ・中村委員を新委員長に推薦する。

次回委員会

日時：7月ごろを目途にメーリングリストで調整する